

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170502835		
法人名	インターナショナル・ホスピタル・サービス株式会社		
事業所名	指定認知症対応型共同生活介護 グループホーム徳洲会		
所在地	札幌市豊平区月寒東4条10丁目8-35 (電話)011-859-3351		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年6月22日	評価確定日	平成19年7月9日

【情報提供票より】(平成19年6月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年9月1日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	17人 常勤 17人, 非常勤 人, 常勤換算 17人

### (2) 建物概要

建物構造	RC壁式 造り
	3階建ての 1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(50,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,052円	

### (4) 利用者の概要(6月22日現在)

利用者人数	16名	男性	6名	女性	10名
要介護1	4	要介護2	3		
要介護3	7	要介護4	2		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 82.6歳	最低	66歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	特定医療法人札幌徳洲会病院・針谷歯科クリニック
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は月寒川沿いの住宅街の一角で、緑が多く静かな環境に位置している。事業所の居間からの眺めは開放的であり、落ち着いた雰囲気の下、利用者一人ひとりのペースを保ち利用者本位のケアサービスの実践が行われている。また、事業所の母体は医療機関ということもあり、医療面においての支援も円滑に行える体制が取られている。ホーム長を始め職員は積極的に研修に参加し、ケアサービスの質の向上に向けて日々取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価においての改善点を会議で話し合い、その改善課題に向けて具体案の検討や実践につなげるため日々取り組んでいる。また、評価を日々のケアに活かせるよう努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価を行い、その後各ユニットごとに内容を検証し評価をまとめている。日々のサービスを振り返りながら、職員の意識向上・ケアの見直し等につなげていくよう前向きな姿勢で臨み、評価を活かした取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>今のところ運営推進会議は2回開催されているが、事業所の運営内容・現状説明に留まっており、運営推進会議としての役割が機能するまでには至っていない。現在、運営推進会議をどのように活かしていくかを検討中である。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>職員は家族と積極的に係わりを持つように努めており、来訪できない家族にも事業所側から働きかけを行うよう取り組み、常に家族の意見・要望・不安等を聞いている。苦情については外部に表現できる流れが明確になっていないため、利用者・家族の立場からの検討が望まれる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>当事業所は町内会に入会し、徐々に地域に理解されるようになっており、地域住民から気軽に声をかけてもらったり、近隣保育園の子供たちが事業所に来訪するなど、地域との交流が図られている。しかし、町内会の年間行事がなく、積極的に地域住民と関わりを持つ場面が少ないため、現在、今後に向けた取り組みを検討中である。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所全体としての理念の他に、各ユニットごとに具体化した理念を作り実践している。しかし、地域密着型サービスとしての理念の見直しや職員間での話し合いが行われていない。	○	今後、地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、事業所と地域の関係性を深めるような理念を作り上げることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、朝のミーティングや会議において日常的に職員に理念を話し、職員も理解し実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩中の声かけや近隣保育園の子供達の来訪など、少しずつ地域との交流が図られている。しかし、町内会での行事への参加までには至っていない。	○	現在、より一層地域との係わり合いを持つための取り組みを検討中である。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価と外部評価の意義を理解しており、全員で自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を踏まえた話し合いを行い、サービスの質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	今のところ運営推進会議は2回開催しているが、この会議を機能させる状態までには至っていない。	○	今後、地域密着型サービスを行う事業所の活動を明示し、会議への積極的参加を呼びかけることが期待される。また、外部の人々の目を通し事業所の取り組みや地域の理解と支援を得るための機会を定期的に設ける事が期待される。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	運営推進会議以外にも、計画作成担当者の変更時や事故報告・その他の相談事など行政の担当者と積極的に関わりを持つよう努めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	来訪する家族が多く、そのつど日々の暮らしぶりや身体状況・職員の異動などを伝えている。来訪できない家族には電話やホーム便りにて伝えている。また、金銭出納については毎月家族に報告し、内容を確認してもらっている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関に意見箱が置かれ、重要事項説明書に事業所内の苦情相談窓口が明示されている。また、廊下には市町村窓口のポスターが掲示されている。しかし、外部の苦情相談窓口が契約書・運営規定に明示されていない。	○	今後、家族が外部に意見・苦情等を気軽に相談できるような体制作りが期待される。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	開設以来職員の異動は少ない。管理者及び職員は馴染みの関係を大切にし、利用者・家族に配慮しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者及び管理者は段階に応じた研修計画を立て、外部研修・法人内部研修を受ける機会を積極的に設けている。また、研修報告も行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は豊平区の管理者会議やケア連絡会に出席しているため、ホーム長同士での交流が図られている。しかし、同業者との直接的な交流はなされていない。	○	今後、事業所全体で話し合い、重要性を把握した上で同業者同士の交流を図る機会を早期に設けることが期待される。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居してからの状況を基に利用者に合ったサービスの見直しを行い、利用者及び家族が安心・納得できるよう適切なサービス開始の調整を行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は「支援する側」、「支援される側」という意識を持たず、利用者の喜び・悲しみ・不安等を共有し、共に支え合う関係づくりに留意し実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を踏まえて、得意な事・出来る事・出来ない事を見極め、本人の希望に沿った支援が行われるよう努めている。また、散歩・買い物・外食等積極的に外出支援が行われている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は、家族の来訪時や電話にて本人・家族の意見・希望を聞くように努め、その内容を介護計画に反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月に1度のモニタリングを基に検討会を開き、必要に応じて本人・家族と話し合い、現状に即した見直しを行い作成している。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、希望するかかりつけ医への受診支援を行い、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医での受診支援を行っている。また、受診や通院は希望に応じて対応している。母体法人が医療機関ということもあり、適切な医療を受けられる体制が作られている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時の契約書・運営規定・重要事項説明書には、重度化や終末期に向けた明確な取り決めが明示されておらず、そのつどの対応となっている。また、職員間での今後の方針等についての話し合いが行われていない。</p>	○	<p>今後、重度化・終末期に向けての方針の統一について早期に検討することが望まれる。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの性格を把握し、プライドを傷つけないような言葉かけや対応を心掛けている。また、個人情報に関する書類等の管理も適切に行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の思いや事情を考慮し、常に利用者本位のペースを保てるような支援を実践している。また、日々の散歩や畑仕事は一人ひとりの希望を大切に、自由な時間に行うよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者の得意な事・関心のある事を把握し、食事の準備や後片付け等楽しみながら支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回、利用者の希望に沿った入浴支援を実践している。入浴できない場合は、清拭を行い、適切な支援が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や身体状況を踏まえて裁縫・編み物・畑仕事など、一人ひとりの得意な事や興味のある事を引き出し支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は利用者の希望に沿って、散歩・買い物・ドライブ・外食などの外出支援を行っている。また、計画を立てた上で、遠方へのドライブなど家族と共に楽しめるような支援も行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけないケアの大切さを理解しており実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回、消防署と連携を取り避難訓練を実施している。しかし、町内会や地域住民への働きかけが行われておらず、協力体制を築くまでには至っていない。	○	運営推進会議等を活かし、地域住民の参加・協力を得ながらの避難訓練の実施や災害時に備えた物品の準備をすることが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	1日の摂取カロリーを定めており、食事量・水分量を記録に残し、職員は一人ひとりの状態を把握している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関にはプランターに植えられた花が飾られ、居間・廊下には手作りカレンダーが置かれるなど家庭的な雰囲気づくりがなされている。また、利用者の心身状況に即して、テレビの音量・照明・日差しの調節を行っている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、利用者本人が使い慣れた馴染みの家具・装飾品・手作りの品などが持ち込まれており、居心地良く過ごせる工夫がなされている。		

 は、重点項目。